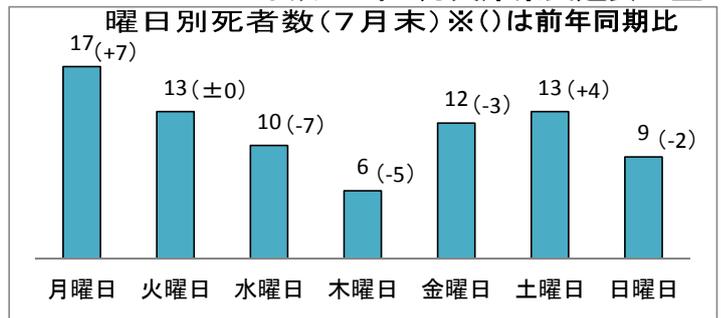
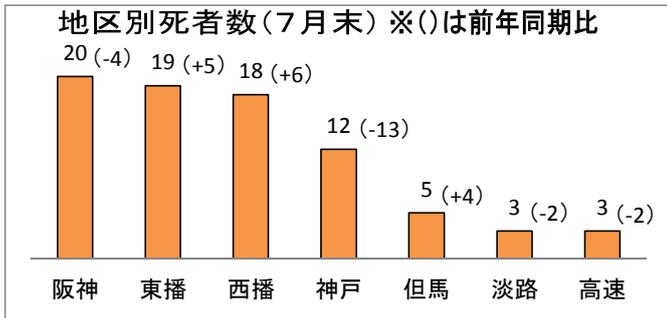




# 第157号 交通安全だより



平成30年9月兵庫県交通安全室



## 9月30日は交通事故死ゼロを目指す日です!

### 夕暮れ時と夜間の交通事故防止



これから徐々に夕暮れ時が早まります。

日没が近づくにつれ、視認性が悪くなり、事故を起こす危険性が高くなります。

車や自転車のライトを早めに点灯することにより、前方がよく見えるだけでなく、自車の存在を相手に気付かせることができます。(ライト点灯推奨時間：4月～9月は午後5時、10月～3月は午後4時)

また、歩行者や自転車に乗る際も、車の運転手からよく見えるよう、出来るだけ暗い色の服装は避け、明るい色の服を着たり、反射材を身につけたりして、自分の存在を知らせましょう。

お互いが意識して行うことにより、注意喚起になり、事故防止につながります。

### 反射材はどのくらいの効果があるのでしょうか?



反射材を身につけていない状態で、ドライバーから歩行者が見える距離は、着用している衣服の色によって異なります!

●ヘッドライトがロービームの時にドライバーから見える距離 ●ドライバーが歩行者を発見して停止できるまでの距離

黒っぽい服装 → 約26m

50km/h → 32m

白っぽく明るい服装 → 約38m

60km/h → 44m

歩行者を認識した瞬間にブレーキを踏んでも間に合わない!

★反射材を身につけた場合は、最低でも約57mの視認距離があります!

60km/hでも歩行者の確認ができ、手前で止まることができます。反射材の面積が大きければ、100mぐらい離れていても見えます。



(時速)	(停止距離)
40キロ	22m
50キロ	32m
60キロ	44m

※ 停止距離とは…危険を察知してから車が停止するまでの距離のこと。



## 秋の全国交通安全運動

～やさしさと笑顔で走る兵庫の道～



<期間> 平成30年9月21日(金) から平成30年9月30日(日) まで

<推進テーマ> 「みんなでつくる 通学路の交通安全」  
「思いやる 気持ちで守る 高齢者」

- <運動の重点>
- ①子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
  - ②夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
  - ③全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
  - ④飲酒運転の根絶

